

# ○Web サイトにオプトアウトする書式

## うっ血性心不全患者における GLIM 基準を用いた低栄養についての検討

### ○研究の概要

2018年に低栄養の国際基準として Global Leadership Initiative Malnutrition (GLIM 基準) が提唱されました。うっ血性心不全患者において低栄養は予後規定因子であり、67±13歳を対象にした既報によると18.9%が低栄養であるとの報告があります。うっ血性心不全患者において、GLIM 基準を用いた栄養評価の報告は少なく、GLIM 基準を用いた低栄養と身体活動・生活環境との関連については、我々が調べ得る限りありません。特に、当院のような広範囲な地域を対象とする急性期病院では、高齢のうっ血性心不全患者が多く、既報の低栄養頻度と乖離する可能性があります。

日常診療において、うっ血性心不全患者の低栄養の頻度や、低栄養に関連する因子を明らかにすることで、本邦におけるうっ血性心不全患者の治療支援や栄養管理の質的向上につながると期待できます。

本研究の目的は、うっ血性心不全患者における低栄養の頻度を調査することと、低栄養に関連する身体活動・生活環境との関連を評価することです。

### ○研究の目的と方法

本研究の目的は、うっ血性心不全患者さんの低栄養診断頻度の調査と、低栄養の有無がADLやサルコペニア、入院時の生活環境(食事介助状況、服薬状況)との関連について検討することです。日常診療で得られた臨床データ(年齢、性別、身体所見や生化学検査など)を電子カルテから集計・統計分析を行う後ろ向き研究です。

### ○本研究の参加について

これにより患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究で扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございました際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

### ○調査する内容

本研究は、令和4年7月1日～令和6年3月31日の期間中、国立病院機構熊本医療センターに入院しうっ血性心不全の治療を行った患者さんを対象としています。新たに試料・情報を取得することではなく、既存カルテ情報のみを用いて実施する研究です。研究終了後の収集したデータは、鍵をかけたファイルにて5年間保管のち、破棄いたします。

### ○実施期間

研究対象期間：令和4年 7月 1日～令和 6年 3月 31日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和 8年 3月 31日まで

### ○研究成果の発表

調査した患者さんのデータは、集団として分析し、学会や論文で発表します。また、個々の患者さんのデータを発表するときも、個人が特定されることはありません。

### ○研究代表者

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室  
加來正之

### ○当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室 加來正之

### ○問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室 加來正之  
電話：096-353-6501